

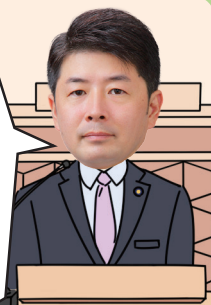
# 福井県議会議員山本建の **ぎかいふんとうき** 県政報告 **議会奮闘記** Ken's report



## ～2月議会編～

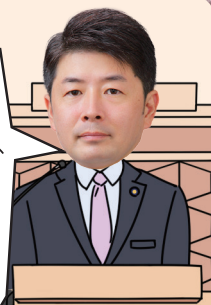
### ●新型コロナウイルス感染症について

政府は、新型コロナウイルス感染症の法的位置付けを5月8日に現在の2類相当から、季節性インフルエンザと同じ**5類に引き下げ**ることを決定しました。入院勧告や就業制限などの行動制限はなくなり、平時に向けて大きな転換点を迎え、社会経済活動とのバランスを取りながら、新型コロナウイルス感染症と共生していく生活にシフトしてまいります。**5類に引き下げることによるメリットとデメリットについての県の見解を伺う**とともに、国に対しどのようなことを求めているのか所見を伺います。

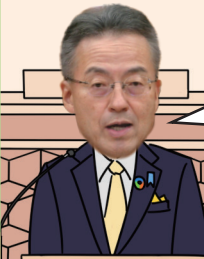


### ●第3次いちほまれスランド戦略について

今年度、第3次いちほまれスランド戦略を策定し、スランド米としての地位確立と定着に向け、従来通り高価格販売を継続していくことですが、多くのスランド米が乱立する中では、良食味の追求と合わせ、新たな付加価値を見出すことによる差別化や優位性の啓発活動、認知度向上を十分に進めていく必要があります。第2次スランド戦略との相違点と強化策について伺うとともに、県内農家の所得向上、営農活動の維持につながる**「いちほまれ」のスランド確立と販売量増加**に向けた知事の意気込みを伺います。

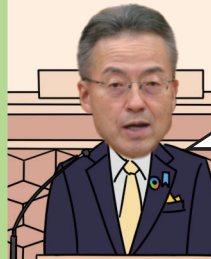


これまで繰り返し行われてきた行動制限等の様々な規制や制限が取りやめられることになり、**日常生活、社会経済情勢が平常化する**ことのメリットが大きいと考えている。  
一方で、5類相当になると、例えば、高額な治療費やワクチンの接種等が有料化されることがある。また、感染対策が緩んで医療のひっ迫を招くこともある。国に対しては**高額な治療費やワクチンの接種に対する公費の負担継続を求めている**と考えている。



<知事>

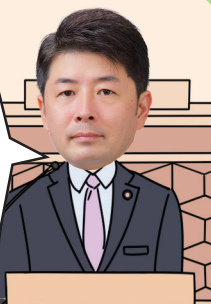
第2次の戦略においては、高い品質を保ちながら、都市圏でのPR、新しい量販店の開拓を行いコシビカリよりも高い価格で販売量の増加を目指したところ、例えば販売店は倍増の2,200店になりましたし、販売量も4千トンから7千トンに増えてきた。第3次の戦略では、**高級感のあるイメージを維持しながら、生産量を増やしていく**。冷めても美味しいということで、例えばコンビニのおにぎりにも販路を増やして、中食と外食にも広げていき販売量を増やしていきたい。さらには、特別栽培米などで農家からの直接販売に向けまして生産者と米穀店を直接結びつけていくようなことの仕組みも考えていきたい。



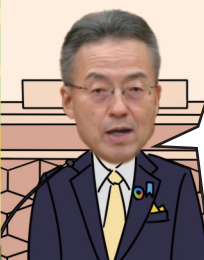
<知事>

### ●少子化対策について

国の人口動態統計によると今年1～10月の出生数は、速報値で66万9,871人と過去最少の水準となり、このままのペースで推移すると今年の出生数は初めて80万人を割る見通しとのことであり、**想定を上回るペースで少子化が進んでいます**。今年度から子育て支援の予算を倍増させるなど施策の強化を図っていますが、現状では少子化の流れを変えるには至っておらず、これまでの対策の効果を検証した上で、質の高い自然減対策等を講じる必要があります。本県の、合計特殊出生率が向上しない原因がどこにあると考えているのか伺うとともに、**今後の自然減対策の方針について**所見を伺います。



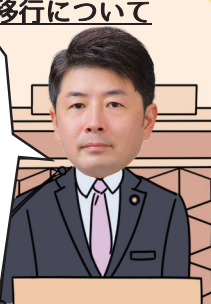
子どもを産まない理由で、経済的、精神的、体力的にもきついったことや、そもそも出会いがなくて結婚できないという声もよく伺うところあり、**精神的、身体的等の負担を軽減**する、また、**結婚とか出会いの場の支援を強化していく**必要があると考えている。  
市や町とも相談しながら、子どもの保育料の無償化の範囲をさらに拡大、ベビーシッターや子どもだけでも訓練された運転手さんが乗せてくれる「ふく育」タクシー等をさらに拡充。また結婚についても民間事業者の応援にも力を入れながら体制を強化していきたいと考えている。



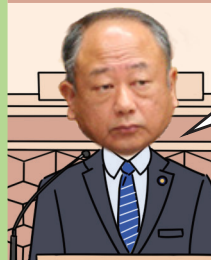
<知事>

### ●公立中学校における休日の部活動の地域移行について

スポーツ庁と文化庁は、公立中学校における、休日の部活動の地域移行を見据えた部活運営に関する指針となる、ガイドラインを公表しました。指針案では2025年度末とされていた地域移行の達成目標は設定しないこととし、**「地域の実情に応じて、可能な限り早期の実現を目指す**という表現に見直しがされていますが、地域移行を進めることに変わりはないとのこととあります。県は地域移行を着々と進めるとして、検討会で実施種目の拡大等を確認していますが、県は今回の**国の方針変更をどのように受け止めているか**、教育長の所見を伺うとともに、県として今後の方針見直しの必要性について所見を伺います。



令和5年度から7年度を「改革集中期間」から「改革推進期間」と言い方は変わったものの、スポーツ庁や文化庁の有識者会議から示されたこれまでの提言に沿って、早期に移行を進めることに変わりはないと考えている。部活動の地域移行は、中学校の教員の働き方改革をはじめ、生徒にとっても、多様な活動の機会や質の高い指導が得られ、有意義なものと考えている。また、**中体連の全国大会についても、地域クラスが参加**できるよう今年度、改正が行われた。  
来年度、先行して実施する地域クラス活動を例に、**他市町にも拡大**するよう努めてまいります。



<教育長>

質疑の様子はYoutubeにて、公開されております。

福井県議会録画中継

検索



2月定例会  
代表質問  
◀こちらから

# 鯖江を元気に！福井を元気に！福井県議会で奮闘中！！

## 令和5年度当初予算が可決

一般会計当初予算4,861億円が成立しました。本年は4月に統一地方選挙が施行されることから政策的な経費を絞り込んだ骨格予算となっております。年度当初から切れ目なく事業展開するため、令和4年度2月補正予算案と一体的に編成し、来年春に迎える北陸新幹線福井・敦賀開業の受け入れ準備やプロモーション事業、物価高騰対策等の経済対策を盛り込み骨格予算としては過去2番目規模となっております。

## 主要事業紹介 (抜粋)

### ○電気・ガス価格高騰緊急対策事業

電気・ガス料金の高騰に伴い、大きな影響を受ける事業者の事業継続を支援。

対象者:県内に本社を有し次の要件を全て満たす中小企業者

- ①高圧電力、特別高圧電力を契約している、または工業用ガスを契約
- ②前決算期における費用に占める電気・ガス料金の割合が5%以上
- ③令和5年4月から6月までのいずれか1月の電気・ガス料金が前年同月に比べ増加

支給額:増加額が10万円以上	60万円/件
増加額が5万円以上10万円未満	30万円/件
増加額が5万円未満	15万円/件

### ○伝統工芸品活用支援事業

北陸新幹線福井・敦賀開業に向けて、県内外の宿泊施設や飲食店等への伝統工芸品の活用を促進し、本県の伝統工芸の魅力を広く発信。

- ①内装や外装の導入経費支援  
補助率1/2 補助上限額150万円
- ②食器等の導入経費支援  
補助率1/2 補助上限額100万円～150万円

### ○住み続ける福井支援事業・空き家対策支援事業 (空き家対策に関連する事業内容の抜粋)

- ・空き家の購入に対する補助  
補助上限額 1戸あたり30万円(街なかは60万円)※安心R住宅は加算有り
  - ・空き家のリフォームに対する補助  
補助上限額 1戸あたり30万円(街なかは60万円)※多世帯同居近居は30万円加算
  - ・除却にかかる費用に対する補助  
補助上限額 1戸あたり50万円(老朽空き家)  
30万円(準老朽空き家)  
※建替え等は加算有り
- ※その他住宅診断や空き家管理代行サービス利用に対する補助も有り

本会議(自民党福井県議会の代表質問)



土木警察常任委員会



# 親超優遇



●県政に関するご意見・ご要望はお気軽にご連絡下さい。

福井県議会議員山本建事務所

〒916-0004

福井県鯖江市糺町 25-12-2 糺野ビル 2階

TEL : 0778-52-2533 / FAX : 0778-52-2534

E-mail : info@yamamotoken.jp



2024 春  
北陸新幹線 福井・敦賀開業  
PRロゴ  
完成!

地味にすごい、福井  
"JIMI NI SUGOI" FUKUI